

11. 委員会活動の充実

1) 6委員会の基本的なありかた

○各種委員会は、倫理研究所法人局の方針に則り委員会統括委員長のもと、各単会の委員会活動の活性充実を最優先に、他各委員会との連携を図り、各単会活動の充実と普及活動“仲間づくり”の推進につなげる。

(普及拡大委員会は幹事長が掌握し、委員長が会の運営を推進させる)

◇副幹事長①(統括委員長)のサポートについて

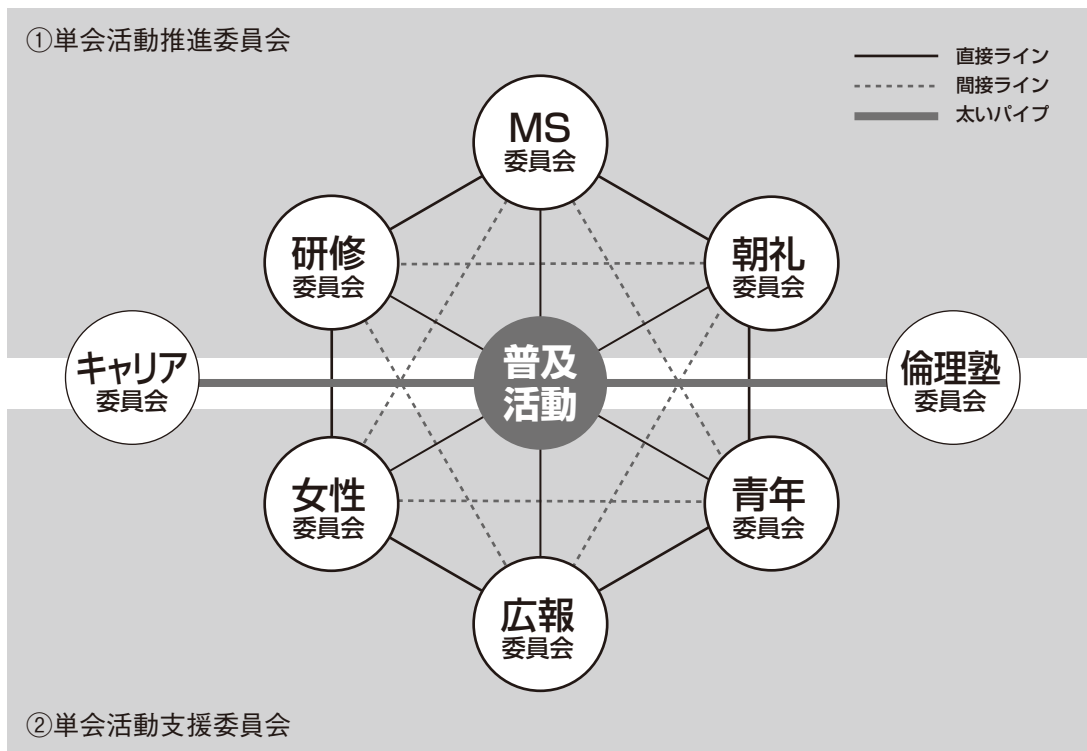
MS・研修・朝礼の各委員会は「単会活動推進委員会」として、各単会の当該活動に関する質の向上と量の拡大を図れるよう指導する。

◇副幹事長②(副統括委員長)のサポートについて

広報・女性・青年の各委員会は「単会活動支援委員会」として、各単会の当該活動に関する効果的な支援活動となるよう指導する。

※正副統括委員長は四半期(Q)ごとの単会活動テーマに基づいて、各委員会の単会における仲間づくり活動が積極的に展開できるよう指示する。

◆各委員会の連携構成イメージ



★上記チャートは、県及び単会における各委員会の直接・間接的な関係性をイメージしたものです。

6委員会+2委員会(倫理塾委員会・キャリア委員会)は、各単会の普及活動に直接関係して仲間づくりの情報源となることを意味しています。

2)委員会行事について

- 各委員会は、年度当初に事業計画の骨子、年間スケジュールをまとめ、それぞれの目的・目標の達成にむけて、計画的にこれを遂行する。
- 行事の遂行にあたっては、都度当該委員会でその行事内容を企画立案し、四役会開催の5日前までに行事計画書を提出、承認された行事を展開する。(終了後はただちに行事報告書を企画会に提出する)
- 県委員会は、四半期ごとの開催を原則とし、委員会事業を推進する。
又、地区委員会開催により、地区内連携強化と“三太郎交流”を展開する。

3)代表委員の立場

- 県委員会の各委員は、所属単会の代表委員であり役職者である。
- 代表委員は毎月の単会役員会に出席し、県や地区委員会の報告をする。
- 県委員会は年間を通して、単会委員会組織の拡大(仲間づくり)に努める。

4)委員長連絡協議会について

- 正副統括委員長は、県役員会終了後に「委員長連絡協議会」を開催し、県や地区行事の掌握と、単会委員会運営の活性化を推進する。
- 委員長連絡協議会は、各委員会の事業目的をはずすことなく、単会活動の“推進”と“支援”を積極的に強力に推し進める。
※委員長連絡協議会終了後は速やかに議事録を作成し県事務局へ提出する。

5)各委員会の役割について

普及活動のありかた

- ①県目標必達の為、各地区・各単会それぞれの目標数(達成日)と、毎月の進捗状況を共有し、全地区・全単会の期日達成をめざす。
※地区では単会三役との交流の場を設け、全単会の通年計画普及を目指す。
- ②単会会長を中心として、各委員会が“正しい普及”の理解促進を図るとともに、普及意欲高揚の手立てと具体的な戦術の研究・強化を図る。
- ③「普及マニュアル」や「単会活性化戦略」などを、積極的に効果的に活用した研修会を企画し、“楽しい普及”の意識改革を図る。

年間3回の普及活動研修を行う。

- ① 令和4年10月1日(土)…普及活動オリエンテーション
普及とは何か?なぜ普及するのか?など、
年度はじめに倫理運動の基本をマスターする。
- ② 令和4年12月3日(土)…普及活動研修会 I
通年普及のあり方や中間達成に向けての組織づくりを学ぶ。
- ③ 令和5年6月3日(土) ……普及活動研修会 II
年度目標必達に向けて、戦略的な組織の活性化対策を学ぶ

普及活動研修会の記録

県主要行事

普及活動オリエンテーション
令和4年10月1日(土)

普及活動研修会 I
令和4年12月3日(土)

令和5年度 中間目標祝賀会
令和5年2月25日(土)

普及活動研修会 II
令和5年6月3日(土)

地区・単会の記録

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

【単会活動推進委員会】

単会の主要行事を、目的をはずすことなく効果的に推進できるよう、会長の指示を受け積極的に働きかける委員会。

MS委員会のありかた

- MSは『経営者モーニングセミナー マニュアル』（最新版）に則り、基本に沿って開催することを大前提とし、言葉などの付け加えや一切の省略もせず、“マニュアル通り”の理解と徹底促進を図る。
- MSリハーサルの徹底と役員朝礼チェックリーダーの養成活用を図る。（チェックリーダーは、地区内他単会のMS委員が望ましい）
- 体験報告会員スピーチの定着と充実を図る。（月1回：会員規模で考慮）
- MS出席者数の前年度比を増加する対策の検討・推進を図る。
- 休眠会員を訪問しMSでの気づきや学びをお伝えしてMSへお誘いする。

研修委員会のありかた

- “研修”に関する諸行事の中心的な役割を担う。
- 新入会員オリエンテーション、役職者オリエンテーションをタイムリーに計画し実行する。
- “経営者の集い”“倫理経営基礎講座”などの開催意義や内容の理解促進を図り、出席対象者の出席率を高めるための施策を研究し推進する。
- 富士研（経営者セミナー）参加者の募集および行事のお世話役となる。
- 休眠会員を訪問し、委員の富士研体験やセミナー体験などをお伝えしながら富士研の各コースのPRや経営者の集いなどにお誘いする。

朝礼委員会のありかた

- 「職場の教養」を活用した“活力朝礼”の意義を充分理解し、朝礼実施企業の増大を図るとともに“会員サービス”の徹底を図る。
- 「朝礼基本マスター研修」で朝礼インストラクターの養成と活用を図る。
- 「朝礼コンテスト」は中心的役割を担い参加企業と見学者の増大を図る。
- 「活力朝礼」モデル企業の育成と「終礼」実施の促進を図る。
- 休眠会員を訪問し企業朝礼の実態を把握するとともに、朝礼実施企業の成果情報を提供しながら「活力朝礼」導入の推進を図る。（同時に、朝礼コンテストの地区大会や決勝大会の見学にお誘いする）

全委員会の重要な役割は“仲間づくり”です。

ランチ会やナイトセミナーには、自単会や地区内のレクチャーを活用し、身近な倫友が「倫理と出会ってどう変わったか」を発表してもらうことで、未入会者に倫理の良さの一端をお伝えすることができます。

遠方から講師をお招きするよりも、気軽に手軽に企画運営できます。

※カラオケ・ゴルフ等の同好会にもこの手法を活用してください。

※委員会の“三太郎交流”企画運営は必ず単会の役員会で承認を得ること。

※地区内他単会からレクチャーをお願いする時は地区長に相談すること。

各委員会の
“三太郎交流”を
積極的に展開する。

★P93「すべての会合は
『三太郎交流』で」参照

【単会活動支援委員会】

単会のすべての事業をより円滑に推進できるよう、それぞれの立場で積極的に支援する委員会。

広報委員会のありかた

- 広報委員会は、県行事及び単会行事の広報を支援する
- 県広報紙『りんゆう』の取材対象者をノミネートし、統括委員長のもとに蓄積する。(ノミネートには単会会長の了承を得る)
- 各事業・行事における計画的な取材・情報の蓄積を図る。(写真撮影など)
- 単会行事での録音・録画・撮影などの禁止事項を周知徹底させる。
- 研究所発行の「倫研新報」への情報提供と県HPの活用を図る。
- 単会行事における成果情報を常に蓄積して、他委員会が企業訪問する際の案内資料として提供するとともにその訪問活動にも同行する。

女性委員会のありかた

- 女性会員が“らしさ”を発揮し“輝き”のある仲間づくりを楽しむ委員会です。
- 倫理法人会における“女性らしさ”研究セミナーの企画・実施。
- 休眠会員を訪問し経営者夫人や女性社員向けのセミナーにお誘いする。
- 体調不良やご家族の都合等でMSに出席できなくなった女性経営者を縁が切れないようランチ会やナイトセミナーを企画しお誘いする。

青年委員会のありかた

- 各単会のムードメーカーとして、若いパワーを発揮させた青年層の取り込みと、倫理を学ぶ若い仲間づくりを楽しむ委員会です。
- 若手独身社員を対象にした「セミナー」を年1回以上開催する。
- 休眠会員を訪問し後継者塾のPRとともに後継予定者対象のセミナーや若手社員対象のセミナーをナイトセミナーとして企画しお誘いする。

【倫理塾委員会】

- ガイドラインに則った「後継者倫理塾」の運営推進に努め、各塾生の教育にあたる。
- 塾生を募集し塾運営を行う。
- 「倫理経営」を基盤とした教育カリキュラムを立案し、塾生の教育指導にあたる。
- 塾生、修了生の所属単会での活躍をサポートする。

【キャリア委員会】

- 県会長及び単会会長経験者、法人SV、法人AD間の交流促進を図り、現役職者との連携を強化する。

(一社)倫理研究所による委員会改編の意味

(一社)倫理研究所法人局では、新たな方針の一つとして数年間の試案を重ね、昨年度(R4年度)より委員会制度の改変を打ち出しました。これにより、茨城県では従来の6委員会に加え、後継者倫理塾を「倫理塾委員会」とし、また新たに「キャリア委員会」を設置することで、合計8委員会となりました。

この改編は、後継者倫理塾においては塾の運営関係者だけではなく、各単会が塾生募集や修了生のフォロー、運営委員輩出などに積極的に関わることで、単会そのものを活性化させようとする意図があり、キャリア委員会は単会会長の役職を終えても、なおその立場での役割を完くすることで、より一層の学びを深めるとともに、現役の役職者の心の拠り所となって活性化を図るという意図があります。

倫理塾委員会のありかた

- ガイドラインに則った「後継者倫理塾」の運営推進に努め、各塾生の教育指導にあたる。
- 設置基準に則って塾生を募集し、運営する。
- 「倫理経営」を基盤とした教育カリキュラムを立案し、塾生の教育指導にあたる。
- 塾生、修了生の所属単会での活動をサポートする。

キャリア委員会のありかた

- 県会長及び単会会長経験者で構成。
- 県・単会会長経験者、法人SV、法人AD間の交流促進を図り、現役職者との連携を強化する。
- 年1～2回の交流会を行う。

		キャリア委員会		倫理塾委員会	
		委員長	副委員長	委員長	副委員長
茨城県	単会	小島 良成	石井 実	須崎 紀男	大関 一利
県北地区	ひたちなか市	黒澤 公一		鶴田 竜一	北川 和幸
	常陸太田	根本 敬久	成井 小太郎	三村 恭兵	石川 哲哉
	那珂東海	照沼 毅	小寺 康生	大野 剛	瀬谷 雄一
	日立市	松山 昭彦	鈴木 博巳		
水戸地区	水戸市	石井 邦明			
	笠間市	大月 利明	渡辺 浩一	藤枝 英明	
	水戸中央	菊池 孝		小林 寛之	本橋 大蔵
	水戸東	小室 光由	高木 清美	河野 正堯	照沼 国隆
	水戸南準	——	——	和田 優希	
鹿行地区	神栖市	林 和代		纈纈 盛治	
	潮来	茂木 克雄			
	鹿嶋市	大槻 繁之	田口 正義	松岡 正和	
	銚田市	——	——	安重 淳子	
筑西地区	下妻市	江面 松男	斉藤 健二		
	常総市				
	筑西市	稲見 正雄	永盛 正人	稲見 康孝	藤木 邦洋
	桜川市	石原 且久			
古河地区	古河市	蓮見 和子	富永 正駿	森 智行	竹内 敦彦
	坂東市	太田 慶樹			
	結城市	田中 一博	渡辺 道雄	小篠 雄登	
	古河・境	落合 延雄	秋元 聖臣		
	古河中央			森 光子	
土浦地区	土浦市	片岡 秀昭			
	石岡市				
	小美玉市	薄井 保則	前川 文広		
県南地区	龍ヶ崎市	島倉 秀也		真行寺 孝仁	平野 好太郎
	守谷市	田島 浩太	坂本 康祐	飯田 高亮	五十嵐 裕貴
	取手市	柴田 大	矢崎 崇		
筑波地区	つくば市	佐野 耕史			
	牛久市	森 彰	廣瀬 春代		
	つくば中央	山成 政仁		鈴木 貴之	高橋 直也
	いなしき	松本 光由	戸谷 聡子		

全委員会に共通した重要な役割は “仲間づくり”です。

- 委員会ごとに“仲間づくり”を目的とした「お楽しみ会」等を企画し、休眠会員や委員の友人知人の未会員をお誘いして、倫理法人会の楽しさに触れ、“よい学びになりそうだ”と思っただけのよう、積極果敢に行事を展開する(この時、入会促進はしない)。重要なのは、単会主催の「経営者の集い」「倫理経営講演会」や、「オモシロ懇話会」等次回のお誘いに“喜んで参加してもらおう”ことです。

- ※モーニングセミナーに誘う場合、一般的に「早朝からはハードルが高い」と心得ましょう。相手の心境に合わせて徐々にお誘いすることが肝要です。
※「お楽しみ会」は、委員会の人数によって、複数委員会の合同開催や、地区内同委員会の合同開催も可能です。(必ず地区長に相談すること)
★P93「すべての会合は『三太郎交流』で」参照

委員会の会合について

- 県委員会は、四半期ごとの年4回開催を原則として年度当初に計画した事業を遂行し、地区委員を選出し地区委員会を活性化させる。ただし、富士研セミナーや朝礼コンテストなど、県行事開催にむけた準備の為の会合は随時開催できるものとする。
○地区委員会は、必要に応じて随時開催し地区内の連携強化を図る。また、開催にあたっては地区長がオブザーバーとして出席することが望ましい。

単会における委員会の“仲間づくり”について

全単会“計画普及”を実現させるためには、委員会活動を活性化させることが絶対条件。単会の委員会は企業での“営業部”であり、まさに単会の“戦略チャネル”です。年度頭初に委員会を結成し、オリエンテーションなどを開催してそれぞれの目的や役割を周知させることが肝要です。(年に数回程度、開催することが望ましい)

- ※オリエンテーション開催には、講師の選定を含め、地区長に相談してください。



単会“委員会”活動の充実

単会は“地域創生”のタグボートだ！

地元地域の中小企業や経営者の方々と共に、元気な企業を目指すことが役職者の使命です。単会を“モーニングセミナー普及号”というタグボートに例えると、その時々単会の事業目的（講演会やイベントの成功）が「旗印」になります。

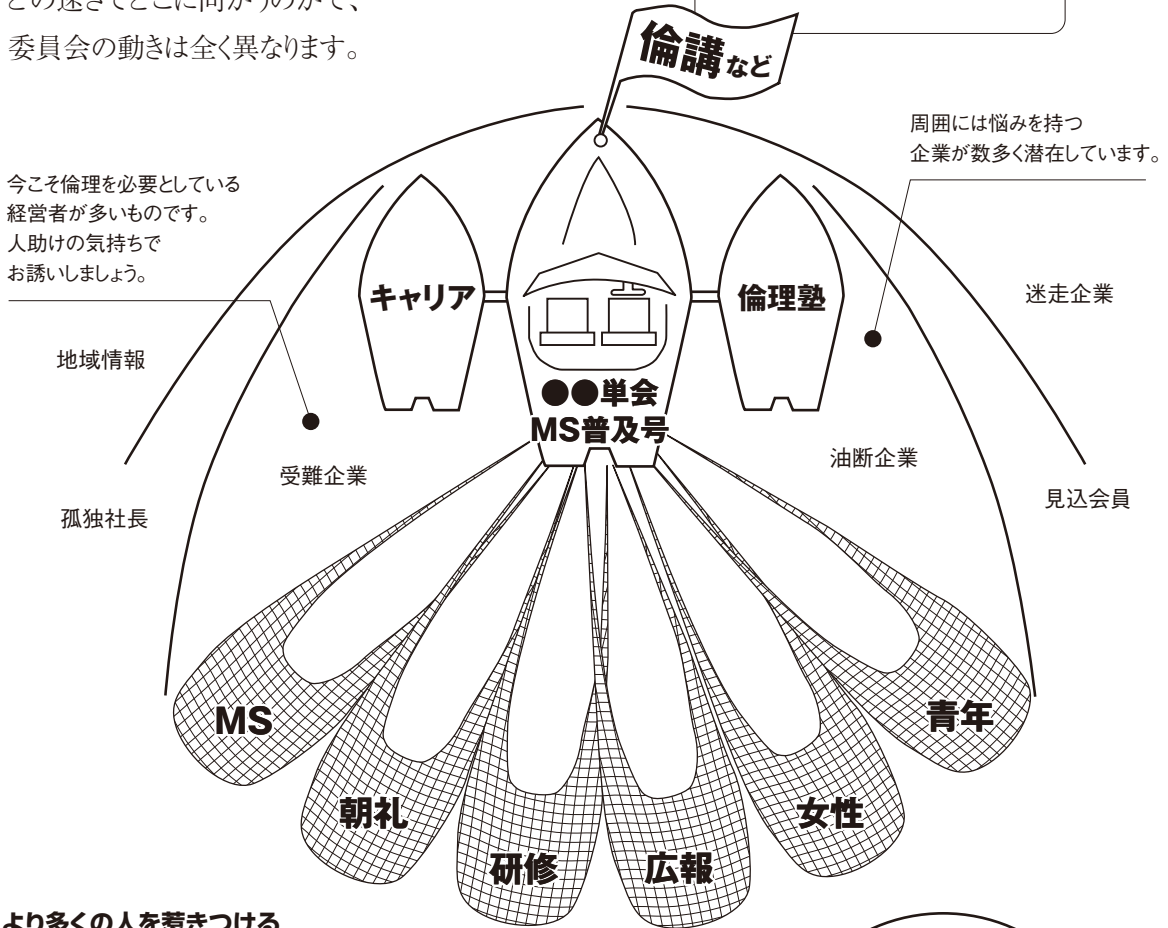
そのゴールに向かって個々の委員会が“底引き網”のように、それぞれの委員会の特性を活かして、仲間づくりの情報集め行事を展開します。

この網を効率よく動かすためには、三役が中心になり、元氣よく前進させなければなりません。

勿論、ボートの操舵は会長の役割。

どの速さでどこに向かうのかで、委員会の動きは全く異なります。

「倫理経営講演会」や「経営者の集い」、「ナイトセミナー」などは、すべて“心の経営”を目指す人々のネットワークを広げるためのものです。



より多くの人を惹きつける
魅力的な「磁石」づくりを考えよう

マグネット手法で仲間づくりを推進しよう！

人は「似た者同士」が集まる習性を持っています。
気さくな人には明るい人が、暗い人には理屈っぽい人が集まり、
ゴルフ好き、カラオケ好きな人同士が集まっています。
同好会を結成したり、気軽なイベントを切り口にして仲間づくりを推めましょう。
〔「三太郎交流」P93参照〕

★少人数の委員会では、
複数の委員会や地区内での
合同企画による同好会活動も
効果的でしょう。

“計画普及”実現のために

各委員会が進める「仲間づくり」 年間普及計画表

全単会“計画普及”の実現に向けて、単会委員会ごとの普及目標を設定しましょう。

委員会 \ 月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	小計
単会三役													
M S													
研修													
朝礼													
広報													
女性													
青年													
合計													

〈記入例〉 各委員会がそれぞれ3ヶ月ごとに1社普及すると計画した場合

委員会 \ 月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	小計
単会三役	1			1			1			1			4
MS		1			1			1			1		4
研修			1			1			1			1	4
朝礼	1			1			1			1			4
広報		1			1			1			1		4
女性			1			1			1			1	4
青年	1			1			1			1			4
合計	3	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	2	28